

5 飯野小育友会が 文部科学大臣表彰を受賞

飯野小学校育友会(布津町)が、令和元年度の優良PTA文部科学大臣表彰を受賞し、市長に受賞報告を行いました。

飯野小育友会は自治会学芸会などの伝統的な活動の継承や、伝統漁法「すくい」体験や環境美化活動の地域学校協働活動などの取り組みが評価されました。

吉岡清寛会長は、「歴代の会長さんや先生方、会員の皆さんのこれまでの取り組みが評価された結果。受賞はうれしく、誇らしい。これからも伝統ある活動を続けていきたい」と喜びを語りました。



5



8



6



9



7

9 未来の芸術家・ 科学者への一歩

11月17日、「第13回北村西望賞教育美術展・古野賞科学技術展」の表彰式を行いました。

西望賞教育美術展では、西望賞6点のほか96点が入賞、また古野賞科学技術展では、古野賞2点のほか10点が入賞しました。保護者や学校関係者が見守る中、永田教育長が受賞者一人ひとりに表彰状と記念の楯を手渡しました。審査員から子どもたちへ向けて「自分が心から感動したことを大切に、作品制作に楽しく取り組んでください」と言葉が贈られました。

8 “ゆめのはし”実現に向けて

市は、口之津町から熊本県、鹿児島県とつなぐ三県架橋の実現を目指す「島原・天草・長島架橋構想」を推進しています。この構想と九州西岸軸構想を推進する事業の一環として、小中学生を対象に実施された絵画コンテストで、応募総数274点の中から、増永柚希さん(布津小1年)の作品「ゆめのはし」が最優秀賞に輝きました。

そのほか、本市から優秀賞3点、入選5点が選ばれ、各学校の児童生徒総数に対する出品率が一番高かった学校に贈られる学校賞を野田小学校が受賞しました。

6/7 FoodExpo2019 南島原の「おいしい」が大集合

12月1日、南島原の「おいしい」が一堂に会するFoodExpo2019を開催しました。

注目の催しである1,000食分のちゃんこ鍋は、今回新たにそうめんを加えた新レシピで提供。1,000食分があったという間に無くなりました。

その他、太鼓演奏やもちまき、南島原〇×クイズなどのステージイベントも行われ、訪れた人たちはご当地グルメを片手にイベントを満喫していました。

Focus in 南島原
市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。

まちの話題



1

1 戦国時代のクリスマスを再現

12月7日、有馬小学校をメイン会場に「フェスティバタス ナタリス2019」が開催されました。

これは、約400年前、日本で初めて創設されたイエズス会の中等教育機関「有馬のセミナリヨ」により伝えられたキリシタン時代のヨーロッパ文化を再現するイベントで、今回で23回目の開催となりました。

注目のイベントであるクリスマス大行列では、南蛮衣装を身にまとった参加者たちが、たいまつを手に有馬のセミナリヨ跡から有馬小学校までを練り歩き、当時のクリスマスを再現しました。また、メイン会場一帯では、高さ30メートルの日本最大級のクリスマスツリーや街路樹のイルミネーションが会場を彩りました。



3



4



2

4 宝くじ助成事業で 「浮立衣装」を整備



宝くじの受託事業収入を財源とするコミュニティ助成事業を活用し、吉川伝統芸能保存会が、「浮立」などで浮立子が着用する衣装一式と太鼓を製作しました。

今回、新たに整備した「浮立衣装」は、10月24日から25日に行われた浮立発表においてお披露目されました。

3 西望公園をきれいに

九州電力株式会社島原営業所の皆さんが、西望公園の清掃活動を11月21日に行いました。これは地域貢献活動の一環として毎年実施されているもので、昨年からは地元の市民にも参加してもらい、今年は総勢14人による清掃活動となりました。高所作業車を利用した高木の剪定や草刈り作業がきれいになった西望公園は、新年を迎える準備ができました。参加していただいた皆さん、ありがとうございました。

2 火遊びは絶対にしません！

11月20日、南島原消防署で「第26回チビッコ防火フェスティバル」が開催されました。

今年是有家町、西有家町の保育園、こども園の年長園児が参加し、放水体験やはしご車搭乗体験、煙体験などを行いました。

今回の体験を通して園児たちは「火遊びはしてはいけない」、「火は怖くて、危ない」ということを学びました。